

■発行／南方熊楠顕彰会 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL 0739-26-9909 FAX 0739-26-9913
http://www.minakata.org/ 〈E-mail〉 minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠……………⑫

蛇の変化、蛇を食べる—「蛇に関する民俗と伝説」から

文／志村真幸(京都外国語大学非常勤講師)

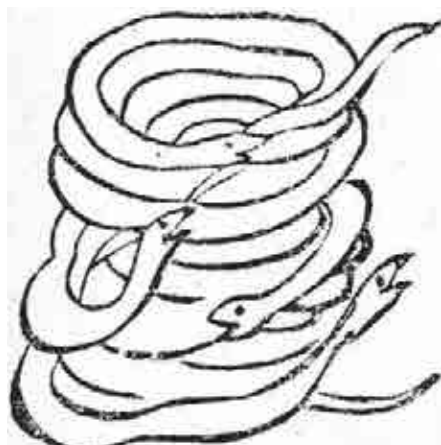
南方熊楠は大正6年の『太陽』誌に「蛇に関する民俗と伝説」を連載しました。大正3年の寅年から始まった『十二支考』の第4弾にあたるもので、世界各地の大蛇や毒蛇のこと蛇を主題とした民話や伝説、蛇を食べる習慣などが、この年の新年号から12月号まで、まさに蛇のように長々と語られていくことになりました。

このなかで熊楠が取り上げたテーマのひとつが、蛇が人間に化けることでした。「蛇の変化」の章に多数の例が挙げられているのですが、まずは『平家物語』の緒方家の例が言及されます。これは豊後の国に住む緒方家の娘のもとに毎夜通ってくる男があり、怪しんだ両親が男の着物に糸を付けた針を刺しておき、翌朝たどっていくと、なんと穴のなかの大蛇だったという話です。伝説に詳しい方ならすぐに奈良・三輪山の話が思い浮かぶでしょうが、実は日本以外にも世界中に似た話が分布しており、熊楠はそれらを無数の資料から掘り出し、指摘していきます。逆に、人間が蛇に化けて女性と交わったという南コーカサスの昔話も挙げられています。

それから「蛇の効用」の章では、蛇を食べることが語られています。「味の素」が蛇を煮出してつくっているのではないかというトンデモない噂話を書き留めているほか、沖縄で海蛇を食用にすること、アラビアで焼いた蛇にレモンや塩をかけて食べることなどが紹介されています。また熊楠自身による、ロンドン滞在中の鰻／蛇の体験にも話が及びます。イギリス人も鰻を食べるのですが、蒲焼きのような手の込んだ高級料理ではなく、プツプツと筒切りにする荒っぽい調理法でシチューやパイにします。19世紀イギリスの大衆食堂では定番の料理だったようです。ところが、ウィリアム・ホーンの『テーブル・ブック』という本に、「下等な店では蛇を代用とするもあるらしい」と書かれているのを見て、熊楠は仰天します。そしてあちこちで鰻の煮込みを注文したものの、結局蛇が出てくることはなかったそうです。ただ、これは都市伝説的なもので、本当に出す店があったかは疑わしいようです。ユダヤ・キリスト教圏では爬虫類を食べるのは禁忌とされており、熊楠もまず事実ではないだろうと述べています。

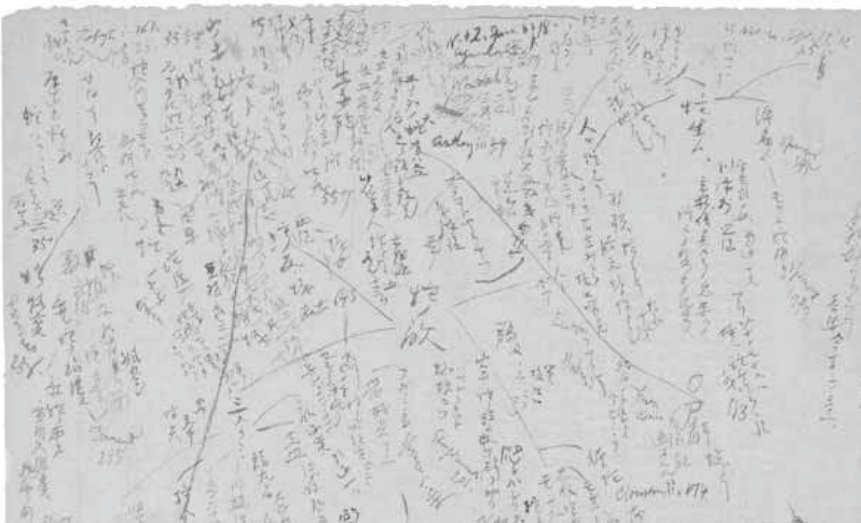
蛇は熊楠のお気に入りのテーマだったようで、「蛇に関する民俗と伝説」以外にも、たくさんの邦文、英文論考で扱っています。実物の蛇についても、尾の先にフジツボが付いた海蛇であるウガを集めていたほか、珍しい黒目の白蛇を友人の川島友吉からもらったこともありました。蛇のなかでも、ちょっと変わったものに関心があったようです。

十二支のなかで巳は唯一の爬虫類(辰も爬虫類かも知れませんが)、手も足もない異様な姿をしており、毒を持っているものもいるなど、独特の存在です。そのためか、熊楠の集めた蛇にまつわる民話や風俗習慣にも奇妙なものが多く、「蛇に関する民俗と伝説」は、『十二支考』中でも一風変わったおもしろい一篇に仕上がっているのです。



第六圖 甲子夜話蛇塚

松浦静山「甲子夜話」に出ている、小石川の路上にあらわれたという蛇塚(蛇が多数重なって桶のようになったもの)の図を熊楠が筆写したものを。



「蛇に関する民俗と伝説」腹稿(執筆メモ)熊楠はこのようにして原稿をつくっていた。熊楠の頭の中がのぞけるようで興味深い。

CONTENTS	
第23回南方熊楠賞 受賞者決まる	… 2
熊楠をもっと知ろう! 第19回 山本幸恵	… 3
熊楠をもっと知ろう! 第19回 細矢 剛	…10
熊楠をもっと知ろう! 第19回 田村義也	…16
熊楠をもっと知ろう! 第20回 千本英史	…24
熊楠をもっと知ろう! 第20回 岩上はる子	…28
熊楠をもっと知ろう! 第20回 松居竜五	…32
南方熊楠蔵書『本草図譜』、『十新考』と大沼宏平翁について(二)	郷間秀夫 …37
南方熊楠と同級生たち 武内善信、奥山直司、小峯和明、田村義也	…38
海辺のクマガス 第三回 安田忠典	…42
書簡の杜(八) 岸本昌也	…44
ロンドン調査「熊楠が通った飲食店」 岩淵 幸喜	…47
熊楠メモランダム《5》 広川英一郎	…48
「熊楠」生物覚え書⑩ 土永知子	…49
新刊紹介・書評 飯倉照平	…50
第14回特別企画展あんない	…52
平成25年度 開館カレンダー	…53